

若

鷲

ホームページ



上野原中学校学校だより

第 10 号

令和8年1月30日発行

文責 校長 長谷川英信

第3学期が始まりました！ 3学期は進学・進級の準備の学期です！！

2026年がスタートし、3学期が始まりました。昨年同様、新年が明けてから、大規模な災害が起きてしました。上野原市が連日、全国放送で映し出される状況に恐ろしさを感じました。8日に起きた扇山の山林火災では、人家に延焼しないよう、昼夜を問わず消火に当たった上野原消防署の方々、地域の消防団の方々、本当に大変だったと思います。避難勧告が出された地域の方々のため、多くのボランティアの方々の活動があつたようです。地域の方々は、夜も寝られない不安な状況だったと思います。災害に対応された方々の活動は、本当にありがとうございます。人のために頑張る大人達の姿を見て、中学生は多くを学ぶものと確信しています。始業式では、私の方から火災現場につめ、昼夜を問わず監視、消火してくれていた消防署の職員の話や地域の消防団の話をさせていただきました。彼らの活躍のおかげで人家への延焼を食い止め、被害を最小限にすることができました。本当に感謝しかないです。また上野原市には、心の温かい、勇敢な方々が多くいることがわかり、頼もししく、誇りに思えることでした。さらに代表生徒4名の3学期の抱負も本当に素晴らしいです。3年生からは、「受験はチームプレイ、支え合って乗り切っていきたい」の言葉や、2年生からは上中の最上級生に向けての決意も聞けました。1年生からは、「4月には下級生が入ってくる、もっともっとしっかりしなくては」と、自分たちを鼓舞する言葉もありました。生徒達は、よい新年のスタートを切り、次なるステップに向け準備を始めていることが確認できました。3学期には、「3年生に贈る会」があります。1・2年生が3年生に向けこれまでの感謝の思いを伝える場です。3年生は、逆に、下級生に目標となる姿を示し、後を託す引き継ぎの場です。準備は着々と進められてきています。生徒達の手作りの会が、心温まる最高の会になることを期待しています。

3学期に入り、3年生の入試もスタートしています。私立高校では、1月中に推薦入試がありました。入試に向けて、3年生や3年職員は冬休み中も学校で面接練習に取り組んでいました。面接で聞かれると想定した内容で事前に原稿を作り、それを覚え、練習を繰り返していました。緊張に備え、最後は管理職も入って何度も模擬面接に取り組んでいました。教師として3学年を担当し、送り出すことは責任は大きいですがやりがいはあります。上中の3学年担当の先生方は、生徒一人一人のために時間を割いて、親身になって対応しています。管理職としても自信を持って自慢できる先生方です。現時点では、内定をもらっている生徒もいますが、誰一人、手を抜いた学校生活を送る生徒はいません。「受験はチームプレイ！」生徒が発したこの言葉を学年生徒が意識して取り組めていると思います。最後の生徒の受験が終わる日まで、一丸となって取り組んでいってもらいたいです。また、面接練習していて、「尊敬する人は誰ですか」の質問に、「3学年の先生方です」と答えた生徒がいました。とても感動しました。3年生の先生方の思いは確実に生徒達に伝わっています。卒業するその日まで、生徒達に一番近いところで、これからも支援していくところです。よろしくお願いします。



本校吹奏楽部、談合坂SAでライブを開催しました！

冬休み中の1月10日の土曜日、談合坂サービスエリアで本校の吹奏楽部がライブを開催しました。サービスエリアを管理する、NEXCO中日本より、是非中学生の演奏会をお願いしたいという依頼が、12月にありました。生徒達も練習の成果が発表できる場があるとうれしい、また励みに練習にも力が入ることで顧問にもお願いする中でライブに向けた取組を始めました。当日は、山林火災の消火のためのヘリコプターの飛び交う中でしたが、災害で不安を抱いている方々の心にも届くような、最高の演奏をしてくれました。サービスエリアで休憩をしていた方々も足を止めて聞いてくれていました。生徒達は、強風や空から降ってくる水滴に備え、対策をとりながら、一生懸命演奏していました。心打たれる場面がありました。演奏後、NEXCO中日本の職員の方からも「素晴らしい演奏でした。是非、定期的に演奏をお願いしたい」そのようなお話がありました。中学生が頑張ることで、周りに与える影響力は本当に素晴らしいものです。いろんなことを変えたり、勇気や感動を与える力になることを再確認しました。寒い中、演奏してくれた吹奏楽部の皆さん、本当にありがとうございました。



講師を呼んで、道徳研究会を開催しました！！

本校は、今年度と来年度の2年間にわたって、山梨県の道徳教育推進校として県の指定を受けています。そのため職員が一丸となって道徳授業について研究を進めています。1月19日には、東京学芸大学教授の永田先生をお招きして、1Aの道徳の授業を参観していただきその後、授業研究会を開催しました。県内から市川中学校の先生方や市内中学校の先生方、教育事務所の指導主事の先生方など多くの方々にも研修会に参加していただき実り多い研究会になりました。永田先生は文部科学省の道徳の調査官をしていた方で、お忙しくなかなか学校に来ていただける方ではありません。今回、縁がありとても素晴らしい講演をしていただきました。また永田先生は本校の先生方に向け、上中のこれまでやってきた研究が正しい方向でしっかりと進められていると助言していただきました。研究を進めてきた本校の先生方にとって、とても勇気づけられるお言葉をいただきました。授業を行った1年A組の担任の先生、1Aの生徒の皆さんとの意見交換をいたしました。来年度、本校は10月に全県に向け、公開研究発表会を開催する予定です。これからも生徒達と一緒に道徳の授業について研究を進め、頑張っていきたいと思います。保護者の皆様におかれましても、学校で行っている道徳の授業により関心を持っていただき、支援していただけたら幸いです。これからもよろしくお願ひいたします。



※表題の中のQRコードを読み取り、是非とも、上野原中のホームページもご覧ください。